

ヲ受ケ、爲ニ不完全ナル金祿公債處分ヲ受ケタル者アルヲ以テ之ヲ匡正救済セントスルニ外ナラス、而シテ藩制施行前ニ在リテハ各藩ハ藩士ノ秩秩ニ對シ與テ實權ヲ有シ、秩秩ニ關スル處分頗ル區々互リ、今日ニ於テ其當否ヲ調査セントスルモ到底及ベカラズ、之ヲ事實ニ徴スルニ秩秩ニ關スル多數ノ請願ハ何レモ藩制施行後ノ分ナルヲ以テ、政令一途ニ歸シ藩制ノ施行ヲ見タル明治三年九月ヲ以テ起點トスベキモノト云フコトノ意見ガ多數アリマシテ、即チ藩制施行ヲ以テ起點ト致スト云フコトニ衆議院ニ於テ決定イタシマシタ、貴族院ニ於テモ同ジ御見解ニ依リ、明カニ明治三年九月ノ藩制施行ヲ以テ限界ト致スト云フコトニ決マリマシタノデアリマス、其後又十三議會、明治三十二年デアリマス、此時モ此起點ニ關スル改正案ガ衆議院ニ提案ニナリマシタノデアリマス、政府ニ於テハ同様に意見ヲ以テ之ニ反對ヲ致シマシタノデアリマス、衆議院ハ多數ヲ以テ可決イタシマシタ、貴族院ニ廻リマシテ調査未了ノ故ヲ以テ成立イタサナカッタノデアリマス、ソレカラ其翌年ノ第十四議會ニ於キマシテ、明治三十三年一月デゴザイマス、是ハ前同様に衆議院ニ於テハ可決イタサレマシタ、貴族院デハ特別委員會ハ勿論本議ニ於テ之ヲ否決サレタト云フコトニ相成デ居リマス、是モ矢張り前申上デルヤウナ理由デアリマシテ、明治三年九月ハ即チ新政府ガ全國華士族ノ家祿ヲ整理シタル限界點ナリ、若シ今日ニ於テ本案ノ如キ法律ヲ制定スルナラバ、勢ヒ處分終了ニナリマシタ過去ノ家祿處分ヲ悉ク根柢カラ覆ヘサナケレバナラヌト云フコトニ相成ル次第デアリマス、何トナレバ本案ノ處分ハ、已済ノ處分トハ其基礎ヲ異ニスル結果ニナリマシテ、兩者ノ間ニ不權衡ヲ生ズルコトナルト云フ理由ヲ以テマシテ、矢張り沒祿ニ關シマシテ救済モ藩制施行ヲ以テ限界トスルト云フコトノ趣意ヲ以テマシテ、第十四議會ニ於テ貴族院デ否決ニナッタ沿革ヲ有デ居リマス、斯様ナ沿革ヲ有デ本案ハ今日ニ至リマシタ次第デアリマシテ、既ニ藩制施行ヲ以テ起點ト致スト云フコトハ總テ此家祿ニ關シマシテ處分ノ原則ニナレデ居ル譯デアリマス、之ヲ今日變更イタスト云フコトニナリマスレバ、金祿公債ノ給與ニ付テモ尙ホ遑デ研究シナケレバナラヌト云フコトニ相成ル次第デアリマス、ドウモ政府ト致シマシテハ、斯様ナ提案ニハイッモ同意ヲ表スルコトガ出來ヌト云フコトヲ主張シ來デ居ル次第デゴザイマス、今日ニ於テモ矢張り同ジヤウナ見解ヲ有デ居ルノデアリマシテ、是等ノコトニ付テ度々同ジ問題ヲ繰返スト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマスガ、決マタ問題ハ既ニ既決ノ問題ト致シマシテ、其間ニ手續ヲ盡サナイトカ、或ハ其折ニ手續ヲ全ウスルコトノ出來ナカタ者ニ付テデ救済ヲ與ヘル、斯様ナ意

味デ本案ニ同意イタシマシタ譯デアリマス、尤モ從來ノ主張ニ於キマシテ、士族ノ族籍ヲ割ガレマシタ者ガ復族ニ相成リマスレバ直チニ復祿ニナルト云フコトノ見解モアリタノデアリマス、其點ニ付キマシテハ政府ニ於テハ矢張りソレハ衆議院アルト云フコトノ見解ヲ採デ居リマス、ノデアリマス、衆議院モ其點ニ付テハ深く從來ノ主張ヲ主張シナイ、唯、實際ニ給與セラル、高ニ於キマシテ、家祿賞典處分トシテ標準ニ依リテ給與セラル、ト云フコトデアレバ、事實上ノ救済ハ付ク譯デアリマス、ト云フコトデアリマス、三十年法律第五十號並ニ其施行ノ爲ニ出マシタ家祿賞典處分法施行法ト云フモノヲ準用イタシマシテ、藩制施行後ノ祿高ヲ基準トシテ公債證書ヲ給スルト云フコトニ修正ニ相成リマシテ、政府ニ於テモ先刻申上デルヤウナ理由ヲ以テマシテ、解釋ハ何所デモ家祿ト云フモノヲ族籍ト云フモノト間ニハ必シモ關係ハナイガ、併ナガラ其給與額ニ不足ヲ來スト云フコトハ同ジ給與額ヲ一時賜金トシテ給スルト云フ精神ヲ以テマシテ本案ニ同意イタシマシタ次第デアリマス、起點ニ關シマシル件ニ付テ今日ノ如キ見解ヲ維持イタシマスル以上、是レ以上ノ救済ノ途ハ無イカト考ヘテ居リマス、即チ本案ヲ以テ最終ノ手段トスルノデアアル、ト云フコトヲ言明イタシマス、次第デアリマス、ソレカラ將來ソレナラバ各種ノ請願ガ起ルデアラウガ、ソレニハ應ジナイ積リデアアルカト云フコトデアリマスガ、是ハ度々申上ゲマス通り政府ニ於テハ明治九年ノ第二百二十三號ノ布告ヲ以テ最終ノ救済ヲ了タモノト存ジマス、ソレニ明治三十年法律第五十號ニ依リマシテ調ベ直シテ致シテ居ルノデアリマス、其處分ニ對シマシテ不服ノ者ハ行政訴訟モ出來ルト云フコトニナレデ居リマス、今度ノ改正案ニ依リテ既ニ自分カラ意テ請願ヲ致サナカタ者、或ハ行政訴訟ヲシナカタト云フ者ニ對シテモ、尙ホ其途ヲ今日與ヘルト云フコトデアリマス、是レ以上ニ鄭重ノ手續ヲ盡スト云フコトハ、外ニ途ハ無イト考ヘマス、唯、今日衆議院等ニ出デ居リマス請願等ヲ見マスト云フト、出願ヲシテ却下サレ、行政裁判所ニ出訴シテ敗訴シタト云フ者デモ、尙ホ救済ノ途ヲ付ケル……救済スル法律ヲ出シテ貰ヒタイト云フ請願モ出デ居ル次第デアリマシテ、是ハ何回救済ヲシマシテモ同ジモノデアラウト思ヒマス、請願ヲ致シ、行政訴訟ヲ起シテ敗訴ニナッタ者ニ對シテ、救済ノ途ヲ開クト云フコトハ、到底政府トシテハ出來ナイト考ヘマス、而シテ其請願ハ政府トシテハ應ズル譯ニハ往クマイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ斗南藩ニ付テノ御尋デアリマスガ之ト同ジ様な事ニ付テハドウスルカト云フコトデアリマスガ、先刻申シマシタ通り起點ヲ藩制施行後ト致シマス以上ハ、其以前ニ歸

農ヲシテ居リマス、或ハソレ以前ニ沒祿處分ヲ受ケテ仕舞タト云フ者デアリマスレバ、ドウシテモ制度トシテ湖ルコトハ出來ナイコトニナリマス、唯、斗南藩ノ如キハマダ金祿公債證書モ受ケテ居ラスノデアリマス、行政訴訟ノ出デ居リマス者モ其半バニモ過ギヌト云フノデアリマス、此法律ノ改正ニ依リテ請願ヲシ、又ハ行政訴訟ヲ起シ範圍ト云フモノハ餘ホ、矢張り藩制施行ト云フコトデアレバ、居ラナカタト云フ事實上テ斷定ヲ致スヨリ外ニ途ハ無イノデアリマス、制度トシテハソレ以前ノ者マデ救済スルコト云フコトニ踏ハラスデモ宜カラウト思ヒマス、又同ジ類ニシマシテモ、其人ガ藩制施行後ニ祿ヲ有デ居ッタカ、居ラナカタト云フコトノ事實上ノ審査十分ニ付ケルノデアリマス、ソレヲ限界トシテ判決ガ出來マスカラ、事實上ニハサウナラウト思ヒマスガ、制度上矢張り藩制施行後ト云フモノヲ限界トシテ其以後ノ者ヲ救済スルノ途ハアラウト思ヒマス、ソレカラ給與高ハ大凡ノ位ニ上ボルダラウト云フ御尋デアリマスガ、是ハ先日委員長カラ御尋ガアリマシテ大要申上ゲテ置キマシタ、從來金祿公債ノ下付ヲ受ケマシタ人ガ全部請願ヲ致シテハ居ラナイ、全部行政訴訟ニモ出デ居リマセヌノデアリマス、ソレデアリマスカラソレ等ノ有様カラ考ヘルト云フト、從來ノ取落サレタ人ガ全部出ルモノデナイ、或ル程度ノ割合ヲ以テ出ルモノデアルト云フコトヲ推定ヲ致シマシテ、大凡金額ヲ推定シマシタモノガ、合計デ……出願ノ分ヲ合計シマシテ二百二十万グラキニ上ボルデアラウカト云フコトノ大體ノ見當ヲ付ケテ居ル次第デアリマス、ソレカラ先日モ申上ゲマシタ通り祿高整理公債ノ發行殘高ガアリマスカラ、ソレヲ以テ救済スルコト云フ考デアリマス

○子爵池田政時君 私ハ先日ノ委員會デ之ニ對シテ詳細ナル説明ヲ伺デ了解シマシタガ、明治三十年ノ法律第五十號及四十二年法律第二十一號ニ依リテ政府ハ十分御處分濟ノヤウニ伺ッタニ拘ラズ、其後年々此出願ガ繰返サレテ、殆ド際限ノ無イ話ヲ承リマシタガ、ソレニ付キマシテ過日御配付ニナリマシタ處分實績表ヲ見マス、三十年ニ於キマシテハ出願人數ハ十一万六千ナニガシタル、其中デ御採用ニナッタノガ僅ニ二百八人ト伺デ居リマス、勿論是ハ政府ニ於テ慎重ナル御調査ヲナスタ結果ニ相違アリマセヌガ、如何ニモ其數ガ僅デアリヤウニ考ヘル、然ルニ四十二年ノ二十一號ニ依リマシテ行政訴訟ガ却下サレルコトニナリマシタ、此法律ニ依リテ救済サレタ者ガ比較的多數ニ上ボデ居ル、此事ハ勿論大藏省ト行政裁判所ト御見解ノ相違ニ基クモノデゴザイマセウガ、其結果ガ、同ジ請願ヲ度々

繰返サシメテ、度々願出テ居ルト云フトキハ、救済サレル時期ニ際合スルコトガアリハシナイカト云フ万一ノ僥倖スル考ヲ起サセルノデナイカト考ヘラレル、果シテソレガ中デ居ルトシマス、此度ノ案ガ通過シタシマシテモ、大藏省ノ御處分ト行政裁判所ノ判決ガ、前ト同ジヤウナ結果ガ現ハレテ居ルノデアルトシマス、此度ガ最終打止メデ、將來ハ受テラレナイト云フコトニ御決定ニナデモ度々出願者ハソレニ満足シナイ、ドウカシテ度々願出テ居ル中ニハウマク往キヤアナイカト考ヘラレル、ソレニ依ッテ今回此法案ガ通過シマシタ上ハ、何トカシテ大藏省ト行政裁判所トノ間ノ御見解ノ近付クヤウナ方法ヲ御採リニナデ、サウシテ其兩者ノ結果ガ餘リニ大ナル差違ヲ生ジナイト云フコトニ相成タナラバ、願出ル者モ満足スルコトニナリハシマイカト考ヘマスガ、其點ニ付テハドウ云フモノデアリマスカ

○政府委員(森俊六郎君) 實ハ先日來申上ゲテ置キマシタ通り大藏省ノ處分ガ政府ト致シマシテハ嚴格ニ過ギタト云フヤウナ風ナ考ハ今日デモ有ッテ居リマセヌ譯デアリマシテ、三十年ノ法律第五十號ヲ施行イタシマスルニ付テハ先日モ申上ゲマス通り、各種ノ方面カラ堪能ナル御方ニ委員ニ推薦ヲ致シ、大藏省內ニ於キマシテモ十分ニ係員ナドヲ増置イタシマシテ、鄭重ナル審査ヲ數年ニ亘ッテ盡シマシタノデアリマス、尙ホ結果ガ内閣ニ出マシテ内閣ニ於テモ鄭重ノ審査ヲ盡サレテ、處分ニ相成ッテ居ル譯ナンドアリマス、併ナガラ祿制ニ關シマスルコト、其他各藩々ニ様ノ實ハ制度ガ行ハレテ居リマシテ、其見解ニ付テハ多少行政裁判所ノ解釋イタシマスル所ト從來大藏省等ニ於テ解釋イタシマシタ所トノ間ニ解釋上ノ相違ヲ來タスト云フコトハ、是ハ實ハ免レヌ次第デアリマシテ、ソレガ爲ニ多少唯今御尋ネノ如キ形ヲ現ハシテ居ル次第デアリマス、今日ニ至リマシテハ行政裁判所ノ判決例ノ出マシタモノニ付キマシテハ、大藏省デハ今後處分イタシマスニ付テ矢張り其判決例ニ準據スルト云フコトニ致サウト考ヘテ居リマス、餘程前例等ガ現ハレテ居リマスノデ、從來ノ如ク大藏省ハ大藏省ダケノ解釋ト云フヤウナコトニ依ッテ處分ヲ致スト云フコトハ出來ヌコトニ相成ラウト考ヘテ居リマス、矢張り最終ノ處分ノ付キマシタモノニ付テハ最終ノ處分ヲ標準ト致シマシテ、ソレニ依ッテ今後ノ請願ヲ處理シテ行キタイト考ヘテ居リマス、併シ萬一大藏省デ調査ヲ致シマシタ結果ト多少ソレニ對シテ不服ノ人ガアリマスナラバ、ソコニ至ッテ初メテ行政裁判所ニ出テ來ル譯デアリマスカラ、其際ニ救済ヲ受ケル途モアリマスノデアリマス、今度ノ改正案ニ依リマシテ請願シナカタ人ガ請願ガ出來マスコトニナリマス、行政

訴訟ニ提案シナカタ人モ全部訴訟ガ出來ルコトニナリマスカラ、二段ノ救済ニ依ッテ總テガ鄭重ナル救済ヲ受ケルコトニ相成リマス、行政訴訟ノ最終ノ處分ニ對シテモ不服ガアルト云フ者ニ對シテハ、是ハ私共ハ救済ノ途ガナイト思ヒマス、先ヅ此二段ノ救済方法ニ依ッテ總テ鄭重ナル手續ヲ受ケルト云フコトニ相成リマスルノデ、最終ノ決定ノアリマスルモノニ付テハ將來ノ審査ヲ致シマスニハ其決定ヲ基準ト致シテ審査ヲ致スコトニ致シマス、積リデアリマス、御懸念ノ如キコトハナカラウカト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵八條隆正君) 御質問ハゴザイマセヌデスカ
○男爵本田親濟君 唯今政府委員ノ御説明デ明細ニ分リマシタガ、尙ホ諄イヤウデゴザイマスルケレドモ、今回提出ニナリマシタ此法律案ヲ最終ノモノト御認メニナル以上ハ、幾度大藏省ニ向ッテ請願シマシテモ證據不十分デアルモノハ取上ゲナイト云フコトニナル譯デアリマセウカ、無論大藏省デ拒絕サレ、バ行政裁判所ニ訴訟スルト云フ方法ハアリマスケレドモ、大藏省ダケノ側ニ於テハ是ガ最終ノ法律案デアラカシテ、此範圍ヲ外レテ決シテ應ジナイト云フ御決心ニナルノデアリマス、諄イヤウデハアリマスケレドモ御尋ネ致シマス

○政府委員(森俊六郎君) 請願ヲ受付ケル受付ケスト云フコトニ相成リマスレバ、今度ノ改正案ニ依ッテ出テ參リマスルモノハ大藏省ト致シテハ十分ニ之ヲ受理イタシマシテ、出來ルダケノ手段ヲ取ッテ實際ノ實狀ニ適應シタ處分ヲ致シタイ考デ居ル次第デアリマス、是ハ前申上ゲマシタ通り各種ノ方法ヲ取りマシテ、出來ルダケノコトハ盡ス積リデアリマス、何分ニモ古イ事柄デアアルノデアリマス、當事者ノ提供イタシマスル證據物件ト云フヤウナモノモ證據力ヲ缺クヤウナモノノ多イノデアリマス、已ムヲ得ナイ場合ニハ吏員等ヲ態々出張サセマシテ、其土地ノ古老ナドニ就イテ話ヲ聽イテ居ルト云フヤウナコトヲ盡シテ居リマス、縣廳ナドニ依リマシテ書類ヲ探究スルコトガ出來マスモノハ出來ルダケノ手段ヲ執ッテ證據物件ヲ蒐收スルコトニ努メテ居リマス、次第デゴザイマス、成ルベク事實ト違ハナイヤウナ處分ヲ致スト云フコトニ致シタイト云フ考ハ始終有ッテ進ンデ居ル次第デアリマスガ、併ナガラ證據力ノ全然ナイモノ等ニ至リマシテハ何分ニモ處分ガ出來ヌト云フコトニナリマス譯デアリマスガ、ドウカ出來ルダケ方法ヲ盡スト云フコトニ大體御了解ヲ願デ置キマス外ナカラウト考ヘマス、此以外ノモノデ出テ參リマスモノハ大藏省トシテハ受理イタシマスモノハナイヤウデアリマス、矢張り貴族院トカ、衆議院トカ云フ所ニ請願トシテ出テ參ルコトニ相成ルデアラウト思フノデアリマス、是

ハ此二ツノ法案ガ通りマスル以上ハデス、尙ホ殘ッテ出テ參リマスモノト云フモノハ先刻申上ゲマス通りニ請願モシ、訴訟モ敗訴ニナタ、併ナガラ自分ハ證據ヲ有ッテ居ルカラ救済シテ呉レト云フヤウナ者ガ出テ參リマスルノト、モウ一度請願ヲシ、行政訴訟ノ途ヲ開イテ呉レト云フヤウナ請願ガ出マス、左モナケレバ此起點ニ關スル爭ダラウト思フノデアリマス、ソレ以外ニハドウモ請願スル途ハナカラウト考ヘマスノデアリマスガ、何レモ是ハ二度請願ヲシ、二度訴訟ヲ致スト云フコトノ途ヲ開クト云フコトハ、是ハ政府バカリデアリマセヌ、立法府ト致シマシテモ非常ニ考慮ヲ要スベキ問題ダラウト思ヒマス、恐ラク受理スベキ筋合ノモノデナカラウト思ヒマス、又起點ニ付テノ爭ガアリマスレバ先刻申上ゲマスルヤウナ久シイ沿革ヲ經テ茲ニ至リマシタノデアリマス、根柢カラ之ヲ覆スト云フガ如キ處分ヲ五十年以上モ經チマシタ今日ニ於テ之ヲ致スト云フコトハ甚ダドウモ當リ得ナイコトデアラウト考ヘマスノデアリマス、政府ト致シマシテハ之ヲ受理シテ相當ノ救済ノ途ヲ取ルト云フコトハ出來ナイコトデアラウト考ヘテ居リマスノデアリマス、即チ今日マデ請願ニナッテ居リマスル、請願ニ出テ居リマスルモノデ解決セラレルモノデナイカト云フヤウニ、私共ハ考ヘテ居リマス次第デアリマス、其他ノモノハ受理ノ出來ナイ性質ノモノデアナイカト云フヤウニ、大體ニ於テ今日考フ有ッテ居リマス次第デアリマス

○磯部四郎君 今本田男爵カラノ御尋ネハ此大正八年十二月三十一日迄ニ願出デザルトキハ、本法ノ給與ヲ受ケルコトヲ得ス、斯ウ云フコトガ茲ニ見エマスガ、今迄デモ總テ期限ヲ付セラレテ其期限ノ内ニ願出ナカタカ、又ハ既ニ願出テモ行政訴訟ヲ起サナカタ者共ニ對スル、是ガ恩典ニナッテ居ルヤウニ見エマスガ、ソコデ本田男爵ノ御心配ニナル點ハ若シ此法案ガ通過イタシタ所デ、大正八年十二月三十一日迄ニ向ホ此手續ヲ怠ク者ガアツタ場合ニ、再ビ哀願シテ來タトキニハ政府ハソレニ御應ジナサルト云フヤウナ御考ガアルノデアナイカ、斯ウ云フ御尋ネデアラウト思ヒマスガ……

○男爵本田親濟君 其通りデアリマス
○磯部四郎君 私モ其點ハチヨット念ヲ入レテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(森俊六郎君) 唯今ノ御尋ネデゴザイマスレバ、私ノ御答ヘハ稍見當違ヒノコトヲ御答ヘシテ居リマシタ、最初現行ノ家祿賞典祿處分法ニ致シマシテモ、衆議院ノ提案ニ於キマシテハ、出願ノ期間ガ二箇年トアリマシタノデアリマス、貴族院ニ於キマシテ一箇年ニ修正セラレマシテ、

ナルコトト存ジマス、今日ハ此儘散會イタシマシテ、討議ハ
尙ホ一回開キマシテ、其際ニ御願ヒ致スコトニ致シマス、今
日ハ是デ散會イタシマス
午前十一時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵八條 隆正君
副委員長 磯部 四郎君
委員 子爵池田 政時君
男爵山川 健次郎君
男爵本田 親濟君
男爵赤松 範一君
島 定治郎君

政府委員

大藏省理財局長 森 俊六郎君

成立イタシタト云フコトニ記憶シテ居リマス、行政訴訟ノ方
モ二箇年ノ提案デアリマシタモノガ、ソレダケノ必要ハナイト
云フコトノ貴族院ノ御見解デアリマシテ、六箇月ニ相成リ
マシタ次第デアリマス、此期限ニ付キマシテハ、先ヅ行政訴
訟ニ付キマシテハ六箇月デアリマス、ソレカラ請願ノ方ニ付
キマシテハ八年末マデ出願ガ出來ルト云フコトニ相成、テ居
リマス譯デアリマス、九箇月ノ期間ヲ有スル譯ニ相成リマス、
此期間内ニ出願ヲ致サウト云フモノハ、全部出願ヲ致スベ
キモノト考ヘテ居リマスノデ、又此期間ヲ延バスト云フコト
ニ付テハ、政府ニ於テハ今日同意スルコトガ出來スト云フ
考ヲ有テ居リマス、度々ノ改正デアリマスカラ、之ヲ以テ最
終ノ打止メト致ス考ヲ有テ居リマス譯デアリマス
○磯部四郎君 チヨット伺ッテ置キマスガ、是ハ何デモナイコ
トデアリマスガ「本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス」トアリマス
ガ、愈、是ガ兩院ヲ通過イタシマシタ以上ニハ、此公布ノ日
ヲ遷延セラレテ、サウシテ八年ノ年末ニ至ルマデ期間ガ大ニ
短縮セラレルヤウナ虞ハナイデアリマスカ、直チニ公布セラ
レルト云フ趣意ニナルノデセウネ

○政府委員(森俊六郎君) 此案ガ成立イタシマスレバ、
成ルベク早く公布イタシタイ考ヲ有テ居リマス

○委員長(子爵八條隆正君) チヨット伺ヒマスガ、三十年
法律第五十號ニ依ッテ出願シタモノ、中ニハ、明治九年ノ
金祿公債處分ニ依ル不足額ノ給與ヲ請願シタモノト、明
治六年ノ太政官布告第四百二十五號ニ依ッテ、家祿ヲ奉
還シタ者ガ秩祿公債ノ不足分ヲ請願シタモノト、兩方アル
譯デアリマスガ、此三十年ノ法律第五十號ニ依ル請願ノ
中、人員ハ兩方ニ分ツトドウ云フ風ニナリマスカ、御分リニナ
リマセヌカ

○政府委員(森俊六郎君) 今日ハ調ヘル材料ヲ有テ居
リマセヌ

○委員長(子爵八條隆正君) 御質問ハゴザイマセヌカ、御
質問ハナイヤウニ認メマスガ、是ヨリ討論ニ入ル譯デアリマ
スガ、直チニ討論ニ入ッタモノデアリマセウカ、何カ諸君ニ於
カセラレテ御考ガゴザイマスカ

○男爵本田親濟君 私ハ此法律案ハ至極大事ナモノダ
ラウト思ヒマスデ、今一應熟考イタシタイト思ヒマスルデ、今
一回御延會ヲ願ヒタイト思ヒマスルガ、諸君ノ御賛成ヲ願
ヒマス

○子爵池田政時君 賛成

○委員長(子爵八條隆正君) ソレデハ御希望モアリマス
ルシ、唯今御話シノヤウニ前ニ二回モ提案ニナッテイッデモ
貴族院ノ方ハ委員會ニ於テ審查未了ニナッテ居ッタヤウナ
案件デアリマスカラ、諸君ニ於カセラレマシテ十分御審議ニ